第2回熊本市教育の情報化検討委員会

令和5年度(2023年度)11月30日 (木) 熊本市教育センター

3 議事

(1) 話題提供

- ①全国の先進事例、動向について
- ②リーディングDXスクール参加校の取組 熊本市教育センター研究モデル校の実践

(1) 話題提供

リーディングDXスクール委託事業の取組について

実施する具体的内容(主な項目)

- ①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
- ②動画教材の活用、外部専門家によるオンライン授業
- ③端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実等
- ④校務の徹底的な効率化や対話的・協働的な職員会議・教員研修
- ⑤実践内容を動画・写真、研修のオンライン公開などにより地域内外に普及

(1) 話題提供

リーディングDXスクール委託事業の取組について

熊本市参加校

熊本市は以下の2グループで参加。

- 藤園中学校、城東小学校、五福小学校
- 北部中学校、川上小学校

(1) 話題提供

熊本市教育センター研究モデル校

研究モデル校

【STEAM教育】

• 桜山中学校、五福小学校

【タブレット活用】

• 楠中学校、藤園中学校

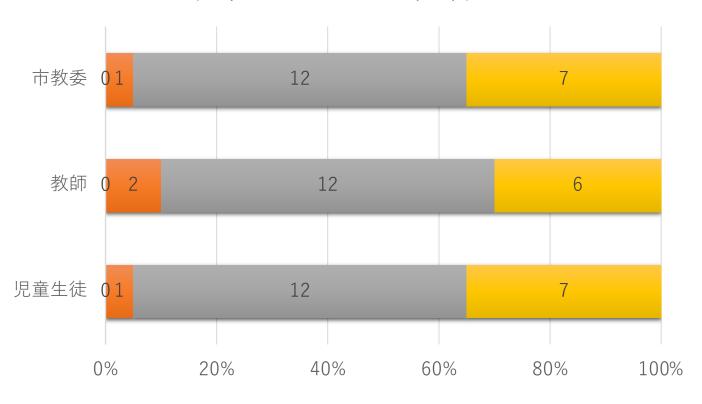
3 議事

- (2) 自由討議
 - ①教育データの利活用について
 - ②研修のあり方について

政令指定都市の現状

(R5.9月 川崎市照会・回答より)

GIGA端末でデータの利活用ができるダッシュボード等の仕組みはあるか



相模原市:教師・教育委員会用の検討後、児童

生徒にも展開していく予定

堺市 :児童生徒・教師用は来年度より予算

を付け、構築予定

横浜市 : R6.4月以降、全面稼働予定

札幌市 : R6年度モデル校実証研究予定

■①すでに活用している

■②予算を付け、来年度から構築予定

■ (3)検討中

■ ④検討していない

①教育データの利活用について

目的全ての子供一人一人の力を最大限に引き出すためのきめ細かい支援を可能にすること。

①子供

これまでの自らの学びを振り返ったり、学びを広げたり、伝えたりすることが可能になる。

②教師

よりきめ細かい指導や支援が可能となり、自身の経験や知見を照合することで自身の成長につながる。

3保護者

子供の学校での様子を確認する等の学校との連携が容易となる。

4学校設置者

類似の地方公共団体との比較や施策の改善がより容易となる。

①教育データの利活用について

熊本市の取組

- ・本市の非認知能力測定のための検証への取組
- ・タブレット端末の活用における実態調査(12月実施予定)
- ・「教育データの効果的な分析活用に関する調査研究」事業における分析活 用案試行地方自治体の参加募集に希望中

2023



ScTN質問紙 WEBQU

特性アセスメント(ScTN)について

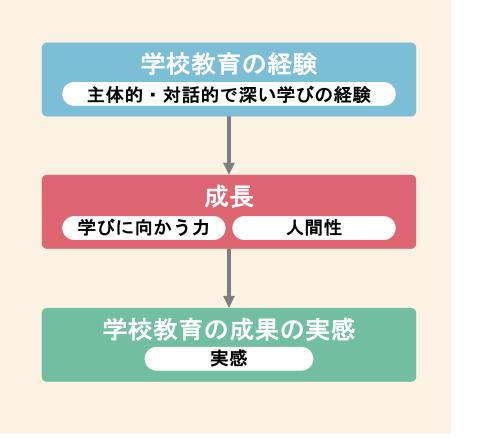


「ScTN質問紙」は、一般社団法人 School Transformation Networkingが開発した、児童生徒による自己評価型の質問紙です。この質問紙は、苫野一徳氏(熊本大学教育学部准教授)が提唱する教育哲学の知見に基づき、主体的・対話的で深い学びの実現状況を測るアセスメントとして開発されています。

ScTN質問紙による調査を通して、

児童生徒の主体的・対話的で深い学びを中心とした学校教育の経験とともに、「学びに向かう力」と「人間性」の育成状況や、学校教育の成果の実感を測ります。

先生方や学校管理職は、その結果を基に、児童生徒一人一人 や集団への理解を深めるとともに、学習指導や生徒指導、教 育活動や学校経営を改善することができます。また、教育委 員会(学校設置者)が、学校に対する支援や必要な条件整備 等を考えるために活用することができます。



特性アセスメント(ScTN)が提供するパッケージ



ライト	ベーシック		アドバンス		
約15問 (約10min)	約30問 1/3時間(約15min)		約70問 2/3時間(約25min)		
教科ごとに、子供たちの学びの経験を知り、学習指 導を改善するために行うもの。教員が取りたいタイ ミングで実施できる。	学期に1回程度実施を想定。学級担任が、子供たちの学びの経験・資質を知り、学級経営・学習指導を 改善するために行うもの。	年 い り	こ1回程度実施を想定。年度初めの実施が望まし 学級担任が、子供たちの学びの経験・資質を知 学級経営・学習指導を改善するために行うもの。		
【方法パラメタ】 ●学校における学びの経験 L主体的・対話的で深い学びの経験 ト本物の学び ト探究の学び ト協同の学び L民主的な学校生活 ●学校教育の成果 L学校教育を通した成長の実感 ト授業を通した成長の実感 L生活を通した成長の実感 L生活を通した成長の実感	【方法パラメタ】 ●学校における学びの経験 - 主体的・対話的で深い学びの経験 ●学校教育の成果 - 学校教育の成果 - 学校教育を通した成長の実感		法パラメタ】 校における学びの経験 体的・対話的で深い学びの経験 校教育の成果 校教育を通した成長の実感		

特性アセスメント(ScTN)の実施例



年度初めにアドバンスを実施し、その児童生徒の理解を深めるとともに1年間の学級経営や授業方針を検討する。 その後、授業や学級に影響を受けやすいもの、施策の効果測定のためなどのアセスメントは学期に1回に実施する。など 測定項目・目的により、実施するべき項目が異なるため、用途に合わせて利用できるように下記のパッケージがある。

パッケージ概要

実施イメージ

	ライト	ベーシック	アドバンス			<i></i>	A . > -
				年度初め	アドバンス	教育委員:	会からの一括配信
タイミング	適宜	学期に1回	年に1回				ライト
				2学期	ベーシック	先生方がる	それぞれ配信
時間	10分	15分	25分				ライト
				3学期	ベーシック	先生方がる	それぞれ配信

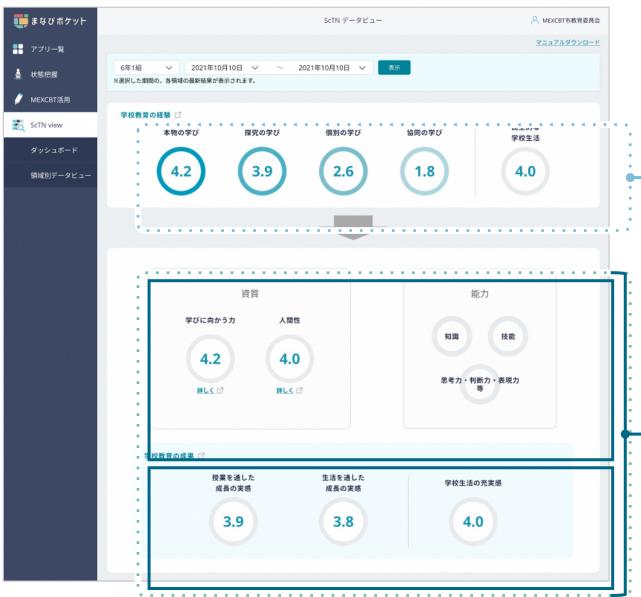
実証校 (小学校3校、中学校2校 全22クラス)

第1回実施日程・内容	ラィ	′ト ベーシ	ック 🛑	
桜木小学校	9月 5日	3年~6年		12クラス
田迎西小学校	10月 5日	3年~4年		6クラス
田迎西小学校	10月 5日	5年~6年		6クラス
西里小学校	10月13日	3年~6年		8クラス
江原中学校	9月28日	1年~3年		12クラス
東野中学校	10月 2日	1年		4クラス

特性アセスメント (ScTN) の画面イメージ (1/2)



~結果概要~



ScTN質問紙調査の概要を閲覧するページ

学校教育の経験

4つの学びの中で、今後改善をしていく必要のある 学びなどに着目できる

資質

学校教育の成果の実感

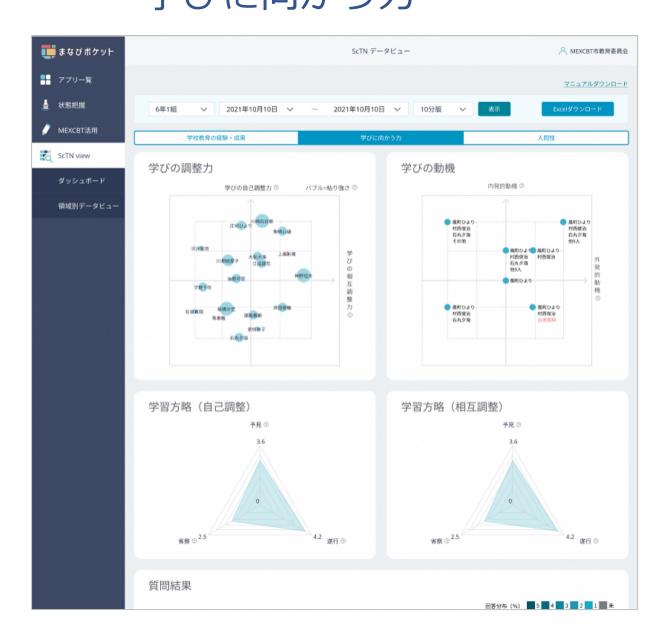
学校での経験を通して、児童生徒の成長やその実感を 把握することができる

【具体的な使い方例〕

- 自治体や学校全体として、どのような項目に課題があるのかを知り、改善策を検討する。
- 学校内で、伸ばしたい力について校内研修に位置づけて計画を立て、指導改善を図る。

特性アセスメント(ScTN)の画面イメージ(2/2) ~学びに向かうカ~





ScTN質問紙調査の「学びに向かう力」の 結果を閲覧するページ

- 授業を受け持つ先生の授業設計のための画面
- そのクラスの児童生徒が、学びに対してどのような調整力(自己調整・相互調整)を持っているのか、 学びに対する意欲など持っているかを知ることができる。
- この画面を通して、個に応じた指導・支援を検討したり、授業設計を考える事ができる。

| 具体的な使い方例 |

- 自己調整力が高い場合は、自分たちで計画を立てて 学習を進めていくことができ、より主体的な学びを 促せる。
- 動機付けが低ければ、どれだけ学習を進めるスキルを持っていても「やる気がおきない」といったことが考えられる。そうすると「学びって楽しい」というきっかけ作りをするなど、方法を考える。

議論していただきたい部分

①学校で生かすことができる教育データ とは、どういうものか。

②研修のあり方について

熊本市の取組

- ・リーディングDXスクール事業における取組
- ・研究モデル校における取組
- ・研究授業、校内研修の動画作成
- ・実践事例集の作成

議論していただきたい部分

②学校間・教師間格差を解消するための校内 研修をどのようにしていくか。

本日は大変お世話になりました。

第2回熊本市教育の情報化検討委員会

令和5年度(2023年度)11月30日(木) 熊本市教育センター